

# 新年のご挨拶



北海道森林管理局長 吉村 洋

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

まず、年明け早々に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、今なお過酷な避難生活を余儀なくされている被災者の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

現在、林野庁・関係森林管理局では、山地の被害状況調査、被災自治体への職員の派遣、被災された林業・木材産業事業者の皆様の相談窓口の設置等の対応を行っているところです。

さて、旧年中は北海道国有林の管理経営に対し、特段のご理解とご協力を賜り誠に有り難うございました。

2023年は、長期化するウクライナ紛争に加え、イスラエル・パレスチナ問題が勃発するなど国際情勢が一層の不安定さを増しました。また、資源高、燃料高が続き、日本経済は、賃金の上昇は見られるものの、円安も相俟ってそれ以上に物価が上昇していることにより、内需の足取りは鈍く推移しました。

森林・林業・木材産業分野においても、燃料材需要に支えられてチップ材の価格は上昇したものの、需要の弱さから木材価格は下落を続け、工場の受け入れ制限や人員不足による生産調整なども見られました。

厳しい逆風にさらされた2023年でしたが、確かな追い風も吹いています。森林資源は年々充実しています。資源に乏しい日本ですが、北海道を中心に森林資源はふんだんにあります。

また、2050年カーボンニュートラルの実現、SDGs、グリーントランスフォーメーションなど国内外の課題に対処するため、森林・林業・木材産業の一層の貢献が求められています。

そして、各地で木造の大型・高層建築物が増加しています。

当局といたしましては、北海道の4割弱を占める約300万ヘクタールの国有林の管理経営に当たり、環境変化に柔軟に適合して課題を解決していく組織づくりを進めながら、公益的機能の一層の発揮、木材の安定供給、国有林の利活用による地域社会への貢献とアイヌ文化の継承等に注力し、今吹いている追い風を確かな成果に結びつけてまいりたいと考えています。

こうした取組を進めるためには、より多くの国民の皆様に森林・林業・木材産業の現状や魅力を知っていただき、応援団になっていただくことが必要です。このため、当局では、「北の森林 国有林」の一層の充実をはじめ、若手職員の新鮮な感性を活かした動画などの発信、子供たちに森林や木材の魅力伝える仕組みづくりなどに力を入れてまいります。また、木の魅力あふれる本局一階のウッドホールでは、森林の公益性や木材利用に関する展示、森林や林業、木材に親しんでいただくためのイベントなど皆様にとって充実したひとときをご提供してまいります。このウッドホールに設けている木の遊具コーナーには、連日小さなお子さんと保護者の方々に訪れていただき、子供たちの笑顔と笑い声があふれています。お近くにお越しの際はぜひご訪問ください。

本年も国有林の価値を高め、次世代に継承して行くべく努力してまいりますので、引き続きのご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、北海道森林管理局の取組にご注目ください。

本年が読者の皆様にとって素晴らしい一年となりますことをお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。